

助成活動実績報告書

企画名	「ホタルの里のものがたり」作成
団体名	「ホタルの里」を記録する有志の会

①活動の目的について

私たちの住んでいる高島・旭竜学区は、20年ほど前、足守地区と共に、岡山市の「ホタルの里」に指定されました。その後、毎年ホタル観察会がおこなわれ、岡山市内からもホタルをみに来る人々が大勢います。

今在家に住んでおられた湯浅金平さんという方が、最初にご自宅でホタルの養殖をされ、用水に放ち、いろいろ試行錯誤の末、このホタルの飛ぶ環境の基礎をつくられました。そのご苦勞を伴う経過と、現在も自然保護に取り組んでいる方々のことを、子どもさんたちも含めた地域の方々に知ってもらうための資料をつくりました。

②内容について

1,000部作った「ホタルの里のものがたり」は、県・市の図書館や公民館などに寄贈し、郷土の資料の一つに加えさせていただきました。

また、高島小学校には、50冊を寄贈し、多くの子どもさんたちに読んでもらっています。婦人会、町内会などを通じても広めてもらっています。

6月の地域のホタル観察会でも紹介しています。

きれいな絵と分かりやすい文で、気軽に目を通すことができると好評です。

③この活動によって達成された成果

・後世に残る一つの「記録」をつくることができ、今後も何かにつけ地域の資料として役立つものと考えております。

金平さんがご存命の頃、共に協力された方や、当時の様子を知る方々のほとんどが、すでに他界されており、この冊子をつくる際にも、取材などでとても苦勞しました。この時期を逃していたら、「ホタルの里」がつけられ、守られてきた経過などの事実は日の目を見ることもなく、知られることもなく埋もれていっただろうと思います。その点からも、そうした「事実」を形として残せたことは、意義があるのではないかと思います。

・「ホタルの一生」について知ることができたこと、自然環境を守ることの大切さがわかったということなど、たくさんの感想、声が寄せられています。残りの300部ほどを、今後も行事その他の場でひろめていきたいと思っています。

④今後の計画・展望について

「ホタルの里」の基礎をつくられた湯浅金平さんは、せせらぎ広場にサクラの苗を植えたことでも知られています。金平さんの残された遺業を記憶に残していきたいと、現在「ホタルの里」に続く「さくらの里」の小冊子をつくることに取り組んでいます。

これらの冊子を今後も地域に広げていきたいと思っています。